



永山地区：中田義美さんの圃場

特集

大学生協稲刈り体験ツアー— 道教育大旭川校と 「稲作体験塾～稲刈り編」を初開催

農協法公布記念日の挨拶

部署Navi・営農企画部 経理課、購買燃料課

理事会だより

あさがおの情報を発信していきます。どうぞご覧ください！

農産物直売所あさがおのブログ
「あさがおだより」リニューアル！
<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagaodayori/>

あさひかわ ホームページ <http://www.ja-asahikawa.or.jp>

2015

11

取扱期間

平成27年

10月1日(木)～12月30日(水)

中長期 定期貯金 キャンペーン

預入期間

3

年利率
[年利]

1000万円
未満

1000万円
以上

0.25%

税引後
0.199%

0.26%

税引後
0.207%

預入期間

5

年利率
[年利]

1000万円
未満

1000万円
以上

0.35%

税引後
0.278%

0.36%

税引後
0.286%

対 象 商 品	自動継続式定期貯金 (スーパー定期貯金)
ご利用いただける方	当組合に出資加入されている方 (新規に加入される方も可)
預 入 金 額	50万円以上
預 入 期 間	3年もしくは5年

- 定期貯金の詳しい内容につきましては、店頭にて説明書をご用意しております。
- 満期日以降のお利息は店頭表示金利が適用されます。
- 中途解約される場合は所定の解約率が適用されます。

TPP交渉の大筋合意を受けての白鳥組合長所見

TPP交渉の大筋合意を受けて10月9日、政府はTPP協定の実施に向けた総合的な政策策定のため、内閣総理大臣を本部長とするTPP総合対策本部を設置しましたが政策対応に関する基本方針の冒頭で次のように記しています。

『TPPは、世界の成長センターであるアジア太平洋地域に一つの巨大な経済圏を創造し、関税だけでなく、サービス、投資、知的財産、国有企業改革など幅広い分野で21世紀型の自由で公平なルールを構築する試みである。わが国は一昨年3月にTPP交渉への参加を「国家百年の計」として決断して以来、終始一貫して、交渉を主導し、国益にかなう最善の道を追及してきた。今般のTPP閣僚合意は「アジア太平洋の世紀」の幕開けとなる画期的なものである。わが国にとっても、国益を確保し、成長を確かなものとし、次の世代、そのまた次の世代に繁栄と活力を受け継ぎ、「チャンスに満ち溢れた日本」を取り戻し、日本の未来を切り拓く歴史的な第一歩である。』

言ったものの勝ちとはいえ私たちの立ち位置から見ると、目眩を覚える程のこのくだりは農林水産分野でかつてないほど高い水準で市場開放に踏み切り、やがて日本農業に深く暗い影を落とすであろうと謂われているTPP交渉大筋合意に対する日本政府の見解です。国益、成長、繁栄など耳障りのいい言葉の裏で徐々に交渉の全容が明らかになるにつれて、農村部では国家に裏切られ、やがては見捨てられ、置き去りにされるのではないかという不安、むしろ恨みに近い感情が渦巻いて来ています。「国内対策をしっかりと行っていく」などと言葉で云うのは簡単であり、本当に国益を考えての判断なのか。このような先行き不安の中で後継者は育つのか。生産基盤は維持できるのか。農業技術は誰が継承するのか。食料の安全保障は大丈夫か。国内自給率をどう維持するのか。残念ながら国政を与えていても生産現場で汗をかいたことの無い人種には課題や不安に応えられる確たるものを持ちあわせては居ない筈です。そうであればより謙虚に現場の声に耳を傾け、現場目線でどうすれば国内自給率と地方の活力が維持出来るのかしっかりとした裏づけのもとで国内対策を講じていただきたいと思います。

いずれにしても生き続けるためには、われわれ農協も農業者もこれから訪れる自由化の波に立ち向かわなければなりません。より経営効率を高め消費者に求められる農畜産物の生産に努めなければならないのは基よりですが国内的には農耕民族としての農業と農村文化の大切さ、田畑山林が国土保全に果たしている役割、日本の田園風景の安らぎと癒しの空間の維持、多少高価でも安心安全を最優先として栽培されている国産農産物の値打ち、これらを丁寧に国民、消費者に説明し日本農業への理解と協力を求めていかなければなりません。それには消費者や若い世代との交流が一層必要に成ってきます。また将来を担う若い農業者が夢と希望、やりがいを感じられるそんな施策も採り入れなければなりません。地域が総力を挙げ知恵を出し合い新しい活力を生み出しながら、かつ経営の形態も競争力のあるものに変わって行かなければなりません。そして将来を見通し地球規模で物事を考えられる新しい感覚のリーダーの出現も望まれるところです。

平成27年産米初出荷

平成27年産米の所前初出荷は9月10日（木）にRT前検査場で行われ、永山地区の中田義美さんがなつばし紙袋の出荷を行い、白鳥組合長より記念品を受け取った。

また上川ライスターミナルでのコンテナ初出荷は9月11日（金）で永山地区の楠智晴さんがゆめぴりかを搬入し、

神田専務より記念品が贈られた。

今年の水稲の生育状況については移植後の低温と日照不足による生育の遅れが見られたものの、7月上旬からの天候回復により平年作以上の収穫量となり豊稔の秋を迎えることができた。



中田 義美さん



楠 智晴さん

TAC からのお知らせ

11月より、「TACアンケート」について訪問します。
宜しくお願いします!!



農協法公布記念日にあたって ～平成27年11月19日

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で68年目を迎えました。

戦後の食料不足等の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立しました。

農協は「農民による農民のため組織」として、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の実現をめざし、各種事業を展開しながら今日に至っています。

言うまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法として極めて重要な役割を担っておりますが、農協法公布記念日を契機に、改めて農協の原点に立ち返り、その意義と役割について共通認識を深めることが重要であります。

このような中、過般、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意という我が国の農業・JAに係る極めて大きな情勢変化があったところです。

農協改革については、法改正と農業所得の向上の関係などに関して、いまだに納得のいく説明なり理解が進まない一方で、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件について今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協運営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉については、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、去る10月5日による大筋合意がなされた経過にあります。

交渉に関する情報開示が極めて不十分であり、国民的議論もないままに大筋合意という結果に至ったことに対して強い憤りを覚えるとともに、生産現場においては、今回の合意内容と国会決議との整合性をはじめ、これまでの交渉の取り組み方には到底納得がいかない状況にあります。

農業のみならず他の分野の合意内容についても全容が不明瞭であり、交渉を担ってきた政府・与党においては、国民との約束ともいえる国会決議と今回の合意内容との整合性や各分野の合意内容の全貌について説明責任を果たす必要があります。

我々JAグループ北海道としては、これらの状況を見極めつつ、今後の取組みを再構築した中で、農業経営をはじめ地域農業・地域社会の持続的発展に支障がないよう、関係

方面への働きかけなど最大限の努力を傾注してまいり所存です。

TPP交渉だけに限ったことではありませんが、国民との信頼関係がなければ国を形づくることは不可能であります。

とりわけ地方創生が叫ばれている中にあることは、各地域の声に十分に耳を傾け、真に国民に寄り添った対応が国には求められているのではないのでしょうか。

かかる状況のもと、先般、3年に一度のJA北海道大会が開催され、【北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」】に関する決議がなされたところであります。

農業は、関係者それぞれの自助努力とともに、一般消費者・地域住民の理解と協力のもとに成り立つ産業であり、今回の決議事項にはその思いが込められております。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識するとともに、JAグループ北海道がより一体となり総合力を十分発揮した中で、大会決議事項を着実に実践していくことが大会開催の真の目的であります。

前述のとおり、農業・JAを取り巻く環境は激動しており、生産現場では将来に対する不安が渦巻いております。

しかしながら、我々農業者・JAグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心のもと、この情勢変化の中から今後に向けた取組みを見い出していくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る不断の努力を行いながら、長年にわたり先人が築き上げた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと継承するよう共に頑張ろうではありませんか。

今後とも、本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶いたします。

JA ASAHIKAWA
あさひかわ

JAあさひかわ11月号
2015 VOL.83

11

農協法公布記念日の挨拶	1
特集 大学生協稲刈り体験ツアー	3
特集 道教育大旭川校と「稲作体験塾～稲刈り編」を初開催	4
部署 Navi・営農企画部経理課、購買燃料課	5
理事会だより	9



特集

道教育大旭川校と「稲作体験塾～稲刈り編」を初開催

JAグループ北海道と北海道教育大学旭川校の主催による「稲作体験塾～稲刈り編」が9月27日(日)に当組合で初めて開催され、教諭を目指す旭川校の学生らとその関係者17人が参加した。圃場は鷹栖町北野地区の神田専務宅で、手刈りとコンバイン作業による稲の収穫体験を行い、昼食は新米ななつぼしのおにぎ



神田専務による歓迎の挨拶



一株ずつ丁寧に刈り取り



刈取りした稲をしっかりと結ぶ



すべてが手作業で大変

りと豚汁を堪能した。その後は、RT前検査場所を見学し、学生らは身近にある農業生産の実態に触れ、あらためて食の大切さを学んだ。

特集

大学生協稲刈り体験ツアー



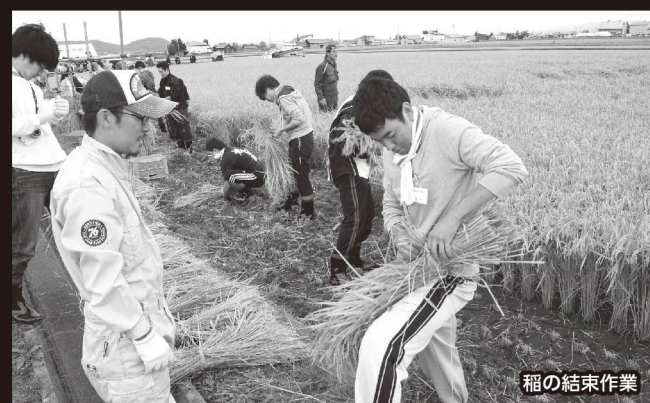
研修

9月26日(土) 大学生協稲刈り体験ツアーが永山地区の中田義美さん圃場で開催された。秋のツアーは、春に田植えを体験した参加者が9割以上を占め、自ら手植えをした圃場が約4ヵ月の間に実りを迎え、黄金色に染まった稲穂の光景に感激した様子であった。

稲作連絡協議会の会長である中田義美さんと青年



手刈り体験



稲の結束作業



稲の結束作業



稲かけ体験

部に稲刈りの方法を実践してもらい、学生たちも見よう見まねで刈取り作業を行い、刈取りした稲を結束し稲架にかける作業まで行った。

その後はバーベキューでの懇親会となり、女性部による新米のおにぎりがふるまわれ、秋の稲刈り体験ツアーは無事終了した。

平成27年度「農婚塾inあさひかわ」終了する！

平成27年度第2回目の「農婚塾inあさひかわ」が8月22日（土）・23日（日）の2日間開催された。好天に恵まれ、忠別川でのラフティング体験、トマトとトウモロコシの収穫体験を通し、予定した2日間の行程を楽しい雰囲気の中で行う事ができた。

2日目の昼食後、営農企画部会議室にてフィーリング調査の結果、1組のカップルが誕生し、白鳥代表理事組合長からお祝いの挨拶をいただき「農婚塾inあさひかわ」は閉講となった。

参加いただきました男女17名の皆さん、大変ありがとうございました。



パークゴルフ大会 永山年金友の会

永山年金友の会（河口建二会長、会員数159名）は、10月12日（月）に今年で11回目となるパークゴルフ大会を15



名の参加により、東川親水河川公園パークゴルフ場において行った。当日は気温も上がり雨が降る中、強風にも負けず優勝を目指して白熱したプレーを繰り広げた。

その中で、日頃の練習の成果を十分に発揮した藤原克之さん（男性の部）美馬富美子さん（女性の部）が優勝に輝いた。

パークゴルフ部会の鈴木登会長から参加者全員に記念品が手渡され、他の参加者も来年こそと決意を新たに、今年度のパークゴルフは無事終了となった。

JAバンク27年冬の全道統一キャンペーンCM撮影

11月より実施されるJAバンク27年冬の全道統一キャンペーン「北海道のおいしさドーン貯キャンペーン」のCMに当組合の女性職員5名が出演することとなり、そのCM撮影が10月15日（木）に永山金融支所で行われた。

撮影当初は出演者も少し照れながらリハーサルを行っていたが、回を重ねるごとに自然な笑顔と元気な声がでるようになり、ほかの職員が見守るなか無事に撮影を終了することができた。

このCMは11月1日（日）～12月20日（日）の期間にいろいろな番組CMで放送されますので、ご注目ください。



水田守がSTVテレビ番組 熱烈！ホットサンド！に出演



10月16日（金）STVのテレビ番組「熱烈！ホットサンド！」の企画「第1回北海道ご当地キャラサミット」の出演依頼を受けて収録に参加してきました。

当日は収録場所である札幌市エレクトロニクスセンターに道内各地から23体のご当地キャラが集合。

緊張の中、サンドウィッチマンのお二人と絡むことができ、楽しく収録を終えることが出来ました。

今回の収録の放送は、熱烈！ホットサンド！平成27年10月31日（土）、11月7日（土）23：30～の2週にわたって放送される予定です。

営農企画部
経理課・購買燃料課

所在地：旭川市豊岡4条1丁目1番18号
JAあさひかわ 営農企画部事務所内
電話番号：37-8855

経理課



堀内 まゆみ

課長

組合員の皆様の負託に応え信頼される経理課を目指して精一杯努力いたします。



富澤 和美

調査役

主に購買部門の経理を担当しており誤精算等の無いよう日々努めてまいります。



山本 由紀

調査役

正確かつ迅速な事務処理をモットーに努力してまいります。



小島 綾乃

調査役

部署間の連携を図り基本に忠実・的確に効率良く業務に努めてまいります。



日野 麻美

主査

より多くの業務を正確にこなせるよう邁進してまいります。



稲場 美保

係

明るい対応に心掛けた確で円滑な業務に努めてまいります。



稲葉 美由紀

係

日々迅速かつ正確な処理を心掛け努めてまいります。



柴東 由岐子

係

正確な業務と丁寧な対応を心掛け皆様のお役にたてるよう努力いたします。



野作 歩

係

購買業務の担当になり不慣れではありますが精一杯努めてまいります。

購買燃料課



宮島 仁

課長

組合員の皆様に信頼される購買燃料課を目指して努力いたします。



井上 淳一

調査役

コスト低減・安定供給に努め、利便性向上に努力してまいります。



松井 隆志

調査役

組合員のご期待に応えられるよう努力いたします。



小原 綾太

主査

魅力ある購買燃料課を目指し信頼関係の構築に努めてまいります。



佐藤 航紀

係

組合員の皆様のお力になれるよう業務に努めてまいります。

永山店新米・新そばまつり 大盛況の中開催される！



9月12日(土)・13日(日)の2日間、農産物直売所あさがお永山店・江丹別そば処穂の香永山店にて新米・新そばまつりを開催した。

イベントでは多くの野菜・果樹・花卉が並べられ売場はいつも以上に賑わい、人気のソフトクリームを特別価格で販売し、開店と同時に大勢のお客様で店内は混雑する盛況ぶりだった。

新米コーナーでは、「ななつぼし」の人气が高く長蛇の列



新そばを求めるお客様でいっぱい



野外テントによる新米販売は多数のお客様がお並びいただきました



ご協力いただいた「旭川そば同好会」の皆さん



大好評の新米コーナー

ができ両日とも完売、また、19日から引き渡しの「ゆめぴりか」も多数の予約注文をいただいた。

そばは、「江丹別産のそば粉」を旭川そば同好会の協力で手打ち実演し、熟練の技術に来店されたお客様を魅了。新米「ななつぼし」のおにぎりとおそばをセットにした特別メニューをワンコインで特価提供し、大雨・強風とあいにくの空模様ではあったが、2日間で1,000食を超え大勢のお客様に新米・新そばを味わっていただく事ができた。

女性部全体研修開催

10月22日(木)、JAあさひかわ女性部(部長・千葉裕子、部員215名)の全体研修会がJAあさひかわ本所大会議室で開催された。

45名の部員が参加し、午前中は淤見株式会社による代表取締役社長淤見政儀様を講師に迎え「終活について」の講演であり、誰にも訪れる「もしも」の時に備えての講演がされた。その後、管外研修報告、女性セミナーについての説明があり、午後からは旭川市福祉保健部による保健師秋葉有希子様を講師に「認知症についてのお話と簡単体操」の講演を聞いた。



初の牛肉フェア開催 大盛況となる！

8月29日(土)農産物直売所あさがお永山・神楽両店店舗前にて、当組合初となる牛肉フェアを開催した。

あさがお運営協議会会員の畜産農家にイベント開催を呼びかけ、オサラッペ牧場からは低カロリー・高タンパクな日本短角種和牛。(株)ひかり牧場からは試験的に取り組んでいる高砂酒造(株)の酒粕を食べて育てた牛肉を生産者自らが店舗前にて即売会を実施した。牛肉についての説明やPR宣伝を交え試食も用意。お客様からは「やわらかくて美味しい」「旭川産牛肉を初めて食べました」などの驚きの声や高い評価もあり、両店とも16時までの販売時間を待たずに完売となる大盛況ぶりであった。



旭川産の牛肉を求めて賑わうお客様



株式会社ひかり牧場の牛肉販売



オサラッペ牧場の日本短角種和牛販売

神楽店開業5周年記念イベント開催

9月5日(土)・6日(日)の両日、農産物直売所あさがお神楽店・江丹別そば処穂の香神楽店において、開業5周年の記念イベントを開催した。

当日は、新鮮な野菜や農畜産物加工品が盛り沢山に並べられ、日頃の利用に感謝を込めて1,000円お買い上げ毎に商品券をもれなくプレゼントし、ソフトクリー



新鮮な農畜産物を買求めるお客様



玉ねぎの詰め放題

ムの特別価格による提供、また、併設の江丹別そば処穂の香では27年産の新そば提供を行なった。店舗前では、朝採りしたトウモロコシを茹でとうきびとして販売、新物の玉ねぎ・じゃがいもの詰め放題は奮闘するお客様で賑わった。

JA共済

一般用自動車共済にご加入のみなさまへ

自動車共済が リニューアル!

グلمスター
自動車共済

- 一部の用途車種(原動機付自転車、農耕作業用小型特殊自動車、農耕作業用大型特殊自動車の場合または被共済自動車に被けん引自動車の場合)については、**Ⅰのみの契約(対人賠償および対物賠償が「無制限」での契約)**、または、車両保障の単独契約(賠償責任保障なしの契約)にてお引き受けすることができます。詳しくはお近くのJAにお問い合わせください。
- Ⅱ、Ⅲ**については、**個人使用の自家用8車種に限り**ます。
自家用8車種とは自家用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽乗用車、自家用小型貨物自動車、自家用軽貨物自動車、自家用普通貨物自動車(最大積載量0.5トン以下)、自家用普通貨物自動車(最大積載量0.5トン超2トン以下)または特種用途自動車(キャンピング車)をいいます。
- Ⅳ**につきまして、これまでの一般用自動車共済にご加入の場合、ご契約のお車の用途車種によっては、「21歳以上限定保障」や「26歳以上限定保障」も設定できない場合があります。なお、これまでの一般用自動車共済で「21歳以上限定保障」や「26歳以上限定保障」を設定できなかった用途車種において、一部設定できるようになりました。
- Ⅴ**につきまして、これまでの家庭用自動車共済のみ適用が可能でした。

記名被共済者年齢階層別掛金率を導入

リスクに応じた掛金率を適用!

before

これまでの自動車共済は・・・
「運転者一定年齢限定保障特約」ご契約のお車を運転される一番若い方の年齢に応じて運転者の年齢条件を設定

そのため
主に運転される方が、事故のリスクが高いシニア層や若年層であっても、事故のリスクが低い保険層であっても一律の共済掛金を負担

27歳 50歳 70歳

after

事故のリスク(危険性)を考慮した掛金率を採用します!

リスクに応じた共済掛金ならネットクだね

27歳 50歳 70歳

記名被共済者年齢階層別掛金率は、記名被共済者が個人の契約で、自家用8車種の場合に限り適用します。
自家用8車種とは自家用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽乗用車、自家用小型貨物自動車、自家用軽貨物自動車、自家用普通貨物自動車(最大積載量0.5トン以下)、自家用普通貨物自動車(最大積載量0.5トン超2トン以下)または特種用途自動車(キャンピング車)をいいます。

JA共済からご契約者さまへの大切なお知らせ

自動車共済 改訂のため

窓口での継続のお手続きが必要です

「継続のお手続きがないままご契約の終了日を過ぎると保障がなくなります。」

JA共済では、共済期間の初日が平成27年10月1日以降のご契約から、自動車共済を改訂いたしました。^{*1}自動継続特約を付帯いただいたご契約についても継続時に保障内容等の見直しが必要となるため、自動継続を停止させていただきます。ご契約者さまにはご不便をお掛けいたしますが、ご契約の終了日までに、ご契約いただいた窓口^{*2}にて継続のお手続きをお願いいたします。

詳しくは、ご契約いただいた窓口までお問い合わせください。

*1 改訂の内容は、同封の「自動車共済改訂のご案内」をご参照ください。 *2 同封の「自動車共済改訂終了のお知らせと継続のご案内」1ページに記載の「取次窓口」をご覧ください。 *3 現在の「搭乗者賠償特約」に該当します。 *4 ご契約のお車の用途車種が自家用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽貨物乗用車の場合も、こちらの4区分から設定のうえ、ご継続できます。

事故サービスセンター移転のお知らせ!

旧事務所

平成27年10月2日までのご連絡先

JAあさひかわ 豊岡金融支所内

所在地: 〒078-8234 旭川市豊岡4条1丁目1番18号

電話番号: 0166-31-3188 フリーダイヤル: 0120-258-931

新事務所

平成27年10月5日以降のご連絡先

JAあさひかわ 旭川中央基幹支所内 2階

所在地: 〒070-0039 旭川市9条通8丁目左8・9号

電話番号: 0166-26-3676 フリーダイヤル: 0120-258-931

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

詳しくは、ご契約先の各支所共済窓口までお問い合わせください。
JA共済ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp> 15011055078

理事会だより

- 第10回 理事会 平成27年8月28日(金)
- 協議事項**
- 第28回JA北海道大会議案に係る組織協議について
 - 平成27年度7月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
 - 平成27年度産米集荷方針及び集荷体制について
- 報告事項**
- 平成27年度仮決算棚卸監査の報告について
 - 管理金融委員会及び営農経済委員会について
 - 内部監査の実施報告について
 - 地区内営農状況について
 - 平成26年度産米追加概算払いについて
 - TACの活動報告について
 - 組合員の加入及び脱退の状況について
 - 規程類の変更について
 - 系統外預金状況について
 - 事務リスク管理規程にかかる第2四半期の概要報告について
 - 反社会的勢力に係る顧客属性照会システムの定期確認結果について
 - 大口信用供与先の経営状況について
 - 平成27年度第3四半期余裕金運用計画額および運用方針について
 - 子法人等7月末事業実績について
 - 人事異動について
 - その他

監事会・監事監査の報告

監事会	第11回監事会	平成27年8月20日開催	第12回監事会	平成27年8月28日開催
	第13回監事会	平成27年9月1日開催	第14回監事会	平成27年9月29日開催

監事監査

- 無通告監査 平成27年8月に本所金融課と13金融支所を実施
平成27年8月に1給油所、1資材センター、1直売所を実施
平成27年9月に本所金融課、融資農家経営対策課、審査課、共済課、1資材センター、6金融支所、1支所を実施
- 第2・四半期監査 平成27年8月21日から9月1日までの間で7日間実施
*無通告監査は、内部監査室と合同で実施しました。

職員の異動	退職	日付	職責	氏名	役職
		9.30	審査役 審査役 係	大槻 則義 櫻間 義章 石川 琴実	営農企画部審査役 管理部付旭川協同総業(株)出向 旭川中央金融支所貯金共済課共済担当係
	採用	日付	職責	氏名	新幹令
		10.1	準職員 準職員	大槻 則義 櫻間 義章	営農企画部米穀農産課販売担当係(定年退職者再雇用) 管理部付旭川協同総業(株)出向(定年退職者再雇用)

JAあさひかわ
(平成27年9月末実績)

組合員数

正組合員	2,118 名
准組合員	27,670 名
合計	29,788 名

概要

出資金残高	2,187 百万円
販売取扱高	1,755 百万円
生産資材供給高	1,078 百万円
給油所供給高	973 百万円
生活供給高	59 百万円
貯金残高	98,879 百万円
融資残高	14,813 百万円
長期共済保有高	1,898 億円

おくやみ

読んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

8/16	宮城ミツ子さん	旭正地区忠別1農事組合
8/24	富居和佐次さん	神居地区上雨粉・神華農事組合
8/25	河部 栄子さん	神居地区雨粉1農事組合
8/25	佐藤ミツ子さん	神居地区豊里農事組合
9/3	後藤 金義さん	北野地区第3区町会
9/3	近藤 花子さん	旭川中央地区その他(旭川)農事組合
9/14	宇山 登さん	旭川中央地区その他(旭川)農事組合
9/15	齋藤 信さん	永山地区8区1組農事組合
9/19	宗万 みよさん	旭川中央地区神楽岡(旭川神楽)農事組合
9/24	小谷 陽子さん	北野地区天満町内会